

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1組：岡澤 ） （2組：阿部 ） （3組：岡澤 ） （4組：金森 ） （5組：赤羽 ）

使用教科書：（ 新高等保健体育、新高等保健体育ノート（大修館書店） ）

教科 保健 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性の応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	生涯を通じる健康 【知識及び技能】 思春期、結婚生活、中高年期といった生活の各段階においては、健康に関わる様々な課題や特徴があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 思春期、結婚生活、中高年期といった生活の各段階においては、健康に関わる様々な課題や特徴に適切に対処するための意思決定・行動選択、社会環境づくりの大切さについて適切な判断ができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 思春期、結婚生活、中高年期といった生活の各段階においては、健康に関わる様々な課題や特徴があることを、自分のこととして積極的に学ぶ。	・思春期と健康 ・性意識の変化と性行動の選択 ・結婚生活と健康 ・妊娠・出産と健康 ・家族計画 ・加齢と健康 ・高齢社会に対応した取り組み	【知識・技能】 性行動とその選択、結婚生活と健康、妊娠・出産と健康、家族計画、加齢と健康、高齢社会に対応した取り組みについての知識や技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 性行動とその選択、結婚生活と健康、妊娠・出産と健康、家族計画、加齢と健康、高齢社会に対応した取り組みについて思考・判断し、それを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 性行動とその選択、結婚生活と健康、妊娠・出産と健康、家族計画、加齢と健康、高齢社会について、自分のこととして考え、積極的に学習に参加することができる。	○	○	○	10
		期末考査		○	○		1
2 学期	生涯を通じる健康 【知識及び技能】 思春期、結婚生活、中高年期といった生活の各段階においては、健康に関わる様々な課題や特徴があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 思春期、結婚生活、中高年期といった生活の各段階においては、健康に関わる様々な課題や特徴に適切に対処するための意思決定・行動選択、社会環境づくりの大切さについて適切な判断ができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 思春期、結婚生活、中高年期といった生活の各段階においては、健康に関わる様々な課題や特徴があることを、自分のこととして積極的に学ぶ。	・働くことと健康 ・労働災害の防止 ・働く人の健康づくり	【知識・技能】 働くことと健康、労働災害の防止、働く人の健康づくりについての知識や技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 働くことと健康、労働災害の防止、働く人の健康づくりについて思考・判断し、それを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 働くことと健康、労働災害の防止、働く人の健康づくりについて、自分のこととして考え、積極的に学習に参加することができる。	○	○	○	4
	健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 環境衛生活動、食品の安全、保健・医療制度や保健・医療機関、医薬品の活用について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりや社会参加、適切な情報活用など自他の健康を保持・増進する方法について理解を深め判断、表現ができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康を支える環境づくりや社会参加、適切な情報活用など自他の健康を保持・増進する方法について、自分のこととして積極的に学ぶ。	・大気汚染と健康 ・水質汚濁・土壌汚染と健康 ・健康被害を防ぐための環境対策 ・環境衛生に関わる活動 ・食品の安全性と健康 ・食品の安全性を確保する取り組み	【知識・技能】 大気汚染と健康、水質汚濁・土壌汚染と健康、健康被害を防ぐための環境対策、環境衛生に関わる活動、食品の安全性と健康、食品の安全性を確保する取り組みについての知識や技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 大気汚染と健康、水質汚濁・土壌汚染と健康、健康被害を防ぐための環境対策、環境衛生に関わる活動、食品の安全性と健康、食品の安全性を確保する取り組みについて思考・判断し、それを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 大気汚染と健康、水質汚濁・土壌汚染と健康、健康被害を防ぐための環境対策、環境衛生に関わる活動、食品の安全性と健康、食品の安全性を確保する取り組みについて、自分のこととして考え、積極的に学習に参加することができる。	○	○	○	10
		期末考査					1

3 学 期	健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 環境衛生活動、食品の安全、保健・医療制度や保健・医療機関、医薬品の活用について理解する。。 【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりや社会参加、適切な情報活用など自他の健康を保持・増進する方法について理解を深め判断、表現ができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康を支える環境づくりや社会参加、適切な情報活用など自他の健康を保持・増進する方法について、自分のこととして積極的に学ぶ。	・保健制度とその活用 ・医療体制とその活用 ・医薬品の制度とその活用 ・様々な保健活動や対策 ・誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり	【知識・技能】 保健制度とその活用、医療体制とその活用、医薬品の制度とその活用、様々な保健活動や対策、誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくりについての知識や技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 保健制度とその活用、医療体制とその活用、医薬品の制度とその活用、様々な保健活動や対策、誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくりについて思考・判断し、それを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 保健制度とその活用、医療体制とその活用、医薬品の制度とその活用、様々な保健活動や対策、誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくりについて、自分のこととして考え、積極的に学習に参加することができる。	○	○	○	8
		学年末考査		○	○		1
							合計 35